

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	オルオルハウスかすみ
------	------------

公表日 年月日 令和8年3月1日

利用児童数 35人

回収数

15

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	14	1				限られたスペースではありますが、事業所のスペースは都の基準のmを満したのものになっております。児童の発散や体を動かす活動の際には屋外活動も積極的に取り入れております。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	15					児童の療育に力を入れている為、制度上基準に必要な指導員を配置しております。今後も児童にとって質の良い療育が出来るよう努めて参ります。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	11	4				児童が安心して過ごすことができるように、プログラムスペースと勉強・自由遊び等のスペースを分けることで構造化された環境づくりに取り組んでおります。構造上、入口に階段がある為、手すりを設置しています。今後も児童の安全面が保てるように運営してい参ります。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	14	1				サービス終了後、毎日の掃除と感染対策の為の消毒を行っています。勉強スペースを確保する事やプログラムスペースとフリースペースを分ける事で心地よい環境としています。
適切な 支援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	15					契約前のヒアリングにより個別支援計画を作成し、個別に支援目標を設定し支援を行っています。必要であれば以前の通所先(保育園等)から情報も得ながら理解を進めています。今後も児童の専門性のある支援が受けられるように運営して参ります。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	14	1				事業所が公表している支援プログラムに基づいて支援内容を明確に示し、実際に提供される支援と一致するよう努めて参ります。
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画(個別支援計画)が作成されていると思いますか。	14	1				児童を支援する上で保護者の方との連携はとても重要なことです。その為、日々の連絡帳の活用や他、送迎や面談時に情報の共有に努めております。また職員間でも日々の振り返りや支援の方向性の確認・統一を図っております。今後も児童を中心として保護者や関係各所と連携し、様々な角度から支援が出来るように努めて参ります。
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	15					日々の児童の様子と、保護者との定期的なモニタリングにより個別支援計画の作成を行い、様々な活動や日替わりプログラムを通して、個々の特性に応じた支援・療育を行っております。
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	15					本人支援として、個別支援計画の明確化と目標の設定を行い、特性や状況に応じた適切な支援を行っています。家族支援として、保護者への情報提供と相談・連携・家庭での支援や対応へのサポートを行っています。また、イベントとして様々な体験学習ができるように外出支援も行っております。

	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	13	2				児童の個性を伸ばし、将来の自立の為に、また毎日利用しても飽きのこないように日替わりプログラムを取り入れております。イベントや外出を通じて様々な経験や体験ができるよう企画を実施しております。今後も児童の成長が促せる療育が出来るように努めて参ります。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	8	3	1	3		令和6年度は3事業所(オルオルハウスかすみ、オルオルネクストかべ、オルオルアドバンスすえひろ)とオルオル学童クラブが合同でアート展を実施し、11月には3事業所合同の運動会を実施しました。今後も地域や放課後児童クラブ等の活動機会を増やしていきます。
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	15					契約時や面談時を通じてご説明しております。今後も支援の内容や、利用者負担について丁寧かつ事前に説明出来るよう努めて参ります。
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	15					定期的に保護者面談を行い、個別支援計画を示しながら個々の特性と成長段階、支援目標の進捗や見直しについて説明しております。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	12	3				保護者会や必要に応じて家族支援プログラムを実施しています。今後も研修会等の家族支援プログラムを行っていきます。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	15					連絡帳や送迎時にご利用時の児童の取り組みの様子や活動の状況をお伝えしております。今後も共通理解ができるように運営していきます。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	14	1				定期的に保護者面談を行っていますが、それ以外でも基本的に保護者からの相談にはいつでも対応しています。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	15					児童や保護者の困りごとに寄り添い、共感的に助言・サポートするよう努めています。また、その内容を職員間でも共有し支援の方向性の一致と、共感を持った支援・療育が出来るよう職員育成や研修を行っています。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	9	4		2		例年、約半年に一度のペースで保護者間同士の連携等の目的で保護者会を実施しております。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	15					児童の相談に対応できるよう適宜個別での面談を行っています。また、定期的に保護者面談を行うとともに、送迎時の対応や電話での相談等の対応もしています。面談の際や保護者会の際に、いつでも相談を受け付けている旨をご説明しています。
20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	15					LINEを使い情報伝達の相互ツールとしております。今後はHUGの導入を行い、情報の伝達をよりできるように行っていきます。	

	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	14	1			日々の支援、活動の様子が伝わるように随時ホームページにて情報発信をしております。行事予定については事前に利用希望表と一緒に配布すると共に、事業所内にも掲示しております。 なお、自己評価の結果もホームページにて都度公表をし、事業所内でもいつでも閲覧出来るようにしております。今後も児童や保護者の皆様に活動や行事の様子の情報発信をすると共に、『開かれた施設』の運営を努めて参ります。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	14	1			個人情報について十分注意しております。ホームページ・Facebookでの活動記録の公開の際には、個人が特定されないように、写真を加工するなどプライバシーの保護への配慮をしております。また、書類においても破棄の際にはシュレッダーを活用する等個人情報の取り扱いには十分注意しております。今後も法令を順守しながら個人情報の保護が保てるよう十分留意して参ります。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	14	1			契約時にご説明させていただいておりますが、更なる情報周知が図れるよう整備して参ります。事業所においては感染防止委員会や虐待防止委員会を設置し委員会の元、訓練も実施しています。今後もマニュアルの更新をし、安全な運営を行っていきます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	12	1		2	事業所においては消防法の基準に基づいて、年に2回の避難訓練を実施しております。更に多くの児童が参加できるよう、学校休業日のイベントとしての実施等も今後検討して参ります。消防庁による普通救命講習を全職員対象で受講しております。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	14	1			契約時にご説明させていただいておりますが、更なる情報周知が図れるよう整備して参ります。事業所においては消防法の基準に基づいて、年に2回の発生を想定した訓練を実施しております。また、何かご不明な点がございましたら、いつでもご連絡ください。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	15				事業所でのケガ等が発生した際は、保護者様に電話でお知らせします。軽微なものに関しては、連絡帳の記入と共に、送迎時にお話をする事としています。今後も安全な運営を行って参りますが、ケガ等が発生した場合は適切にお伝えして参ります。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	14			1	安心感を持てるよう、環境設定としてホワイトボードにより視覚的に予定や取り組みをわかりやすく示しています。まずは児童と職員との信頼関係の構築をし、他児童とのコミュニケーションへと繋げ楽しく安心して通所できるよう今後も努めて参ります。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	14			1	子供たちの自発的な意欲を引き出すためにもプログラムや様々な活動を楽しみながら取り組む事はとても大切な事と捉えて日々支援しております。また、高学年の児童を対象とし、興味や関心に寄り添いながらも将来の自立を見据えて自主性や社会性の成長を支えられるよう支援して参ります。今後も全ての方に満足いただけるようなメリハリのあるプログラムに加え、イベントや外出等の企画・提供に努めて参ります。

	29	事業所の支援に満足していますか。	14	1				理解とご協力を頂き誠にありがとうございます。 今後も日替わりプログラムと様々なイベント等を通じて更なる質の高い療育に努めて参ります。
--	----	------------------	----	---	--	--	--	---